

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/07/11号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

需要景気減速懸念で一時100ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=95.10ドルまで急落して4月12日以来の安値を更新した後、週末にかけて104ドル台後半まで切り返す荒れた展開になった。7月1日終値は108.43ドルだったが、米独立記念日の連休明け後はマーケット全体で景気減速懸念を織り込む動きが強まり、他のコモディティ相場と連動して原油相場も急落した。為替が大きくドル高方向に振れたこともネガティブ。ただ、週末にかけてはロシア裁判所が「カスピ海パイプライン・コンソーシアム (CPC)」に30日間の操業停止命令を出したことが警戒された影響もあり、押し目買いで下げ幅を縮小する展開になった。

景気減速懸念が改めて原油相場の上値を圧迫した。何か特別な新規材料が浮上した訳ではないが、原油以外にも非鉄金属、農産物相場なども需要不安を織り込む形で急落した。ただ、中国政府が下期に1兆5,000億元 (訳30兆円) 規模の景気対策を打ち出すことを検討中との報道が流れると、需要不安の後退から押し目買い優勢の展開になった。極端に不安定な値動きが繰り返されている。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (7月1日時点) は、原油が前週比823万バレル増、ガソリンが250万バレル減、石油精製品が127万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需要不安で不安定化が続くも、高値圏を維持するか

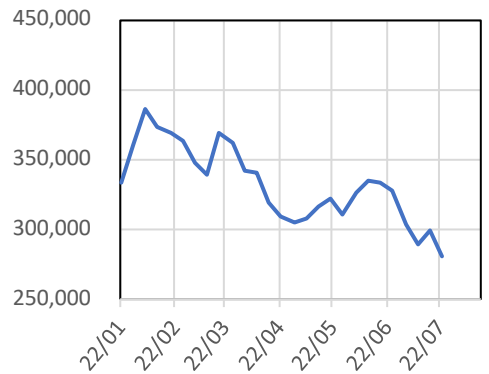
世界的な利上げ対応で景気減速懸念が強まる中、原油相場も不安定な値動きが続く。足元ではドライブシーズンの本番を迎えていること、中国経済活動の正常化で堅調な需要環境が確認されているが、一方で将来的な景気減速、更にはリセッション（景気後退）のリスクも同時に高まっている。リセッションに入るか否か、リセッションに入るとすればどの程度の深刻さになるのかマーケットの見方も割れており、今後も高値圏での乱高下が続き易い。

需要不安織り込みの是非が議論される中、7月12日に石油輸出国機構（OPEC）、13日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が公表される。ここで需要見通しの大幅な下方修正があると、改めて地合が悪化し易くなる。一方、大きな修正がみられない場合には、底固さを再確認する展開になろう。

7月13～16日にはバイデン米大統領が中東を訪問する予定。サウジアラビアやUAEに対して増産要請を行っているが、中東産油国の政策に修正を迫るような動きがみられるのかが注目される。OPECプラスの協調政策が大きく変わる可能性は殆ど存在しないが、米国と中東産油国との関係改善で何等かの成果が得られるのかに注目したい。

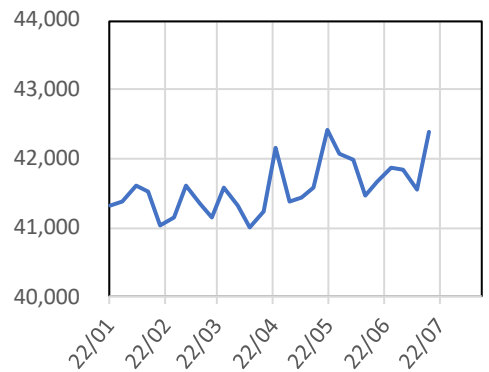
需要不安と同時に供給不安も抱えていることで、原油相場はこれまでと同様に乱高下が続き易い。ただ、7月8日時点では8月限の104.79ドルに対して、9月限が101.53ドル、10月限が98.37ドルと、依然として大幅な逆サヤ（期近高・期先安）環境が維持されている。少なくとも足元の需給ひっ迫評価は維持されており、逆サヤ環境が崩れない場合には、高値圏での推移が続く可能性が高い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



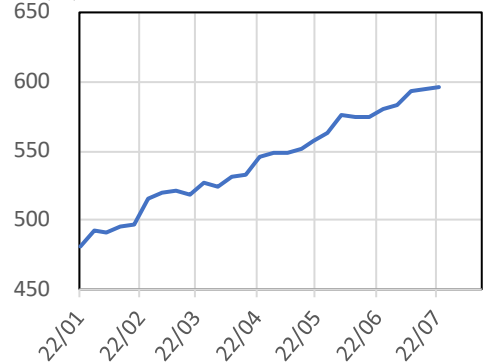
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

